

富山県地域別研修会 今年は氷見で開催されました！ 2月18日 氷見市いきいき元氣館

講演会では「東日本大震災におけるボランティア活動を通じて」と題して氷見市ボランティア総合センターの山田哲也さんに被災地での活動と、そこでの注意点を話していただきました。震災直後は氷見の皆さんの気持ちがいち早く被災地へ届くよう募金や義捐金の窓口を一本化し、向後の憂いなく被災地へ向かったそうです。また大災害時におけるボランティアは時期や場所によって多種多様のニーズがあり、現地の要望に応じて活動する事が、被災された方たちにより寄り添えるボランティアであると教えられました。

分科会は「地域における男女共同参画」に出席。自治会やPTAでの役員選出などをどのようにしているか活発に話し合いました。男女共同参画とは「男性でなければダメ」「女性だからダメ」という考えではなく、適性に応じることが男女共同参画であると感じました。

(田中 利幸)

活動発表

ウイング・ウイング高岡のEフェスタやふれあい福祉センターのボランティア広場などで、活動の様子を掲示しました。また講演会や料理教室などについて新聞で取り上げていただきました。



利長くんと踊ったYO!!

民間支援基金バサバは皆様の支えで成り立っています！



DV被害者が自立の一步を踏み出すための一時支援金を無利子で貸出します

DV(ドメスティック・バイオレンス)問題は社会認知もされ、徐々に支援の輪も広がっていますが、未だ被害の相談件数は増加しています。また、子どもへの影響も深刻です。バサバは、誰もが安心して暮らせる何事も暴力で解決しない社会を願って活動します。

賛同するみなさんの会費・寄付で運営されます。あなたのサポートをお願いいたします。

〈会費・寄付振込先〉
ゆうちょ銀行〇七九店(079)当座預金口座番号0057876
口座名 サポート基金バサバ
問合せ先:080-6358-0838

バサバって？

フランス語で、「一步一步」という意味です。

編集後記

4年間(2期)の任期も残すところあと僅か。今号が最後の編集となりようやく肩の荷が下りる思いです。様々な勉強会やたくさんのお出会いは多くの気づきにつながり、自分らしく前向きに生きる手がかりとなるものでした。

さて今年度で任期満了となり推進員は交代します。退任される推進員の皆様には今後とも、家庭や地域、職場で推進員の経験を活かし、男女共同参画の輪を広めていかれることを願っています。

最後に、ご協力くださった皆様に心より感謝いたします。

(野崎 里見)

広報部員

野崎 里見
高梨 真宏
山岡 純子
横田 喜子
竹田ひふみ



ともだち共立

平等・開発・平和

第12号 富山県男女共同参画推進員高岡連絡会

「推進員を経験して」

富山県男女共同参画推進員高岡連絡会副会長 松澤 正見



推進員の任期も、あと僅かになりました。どんなことでも二期以上しないと気が済まない性格からか、二期四年もしてしまいました。任期を終えるに当たり、私が感じた男女共同参画について述べたいと思います。

推進員になった時は小学校のPTA会長と兼務で自薦でした。PTA役員で女性の多い職場にいるからか、男女共同参画が普通であり「いまさら男女共同参画って何？」という感じでスタートしました。一年目はPTA職が多忙でなかなか定例会に出席できずにおりましたが、次第に定例会に出席しているうちに、ロールプレイングやワークショップを通じて男女共同参画について沢山の人の考えを聞くことができ、逆にロールプレイングやワークショップをする側に立つことで、人に伝える難しさや楽しさを体験できました。

私は大家族の中で育ち、両親は共稼ぎで祖父母に育てられました。祖父母は明治生まれで、小さい時から家族の中での男女差別や長男優遇を肌で感じてきました。しかし現代は社会構造が変化し法の整備も進み、逆に差別しては社会が成り立たなくなっていると思います。特に子供たちが、今の私の年齢になるころは超高齢社会で、今よりずっと少ない就労人口で日本を支えていく時代になります。男女関係なく働かなければ家庭も国も成り立たなくなります。今から我々大人が、社会環境を整え、子供たちが少しでも生活しやすい世の中にする使命があると考えます。

男女平等は社会の基本です。推進員は将来の日本の社会づくりに大切な役目を担っています。学習やイベントを通じて男女共同参画の輪が広がれば、どんな難題も乗り越えられると確信しています。東日本大震災以来、「絆」の大切さが言われています。日本人すべてがこの一言を忘れなければ、推進員が必要でない社会がきっと近い将来来ると私は信じています。

悩んでいることは ひとりで悩まないでご相談ください

DV(夫や恋人からの暴力) 家庭や職場のトラブルや悩み事など

高岡市男女平等推進センター相談室

TEL 0766-20-1811



平成22年度の
主なデータ

相談件数：2,888件(延件数)
主な主訴：①DV(40.1%) ②生き方(30.6%)
③夫婦の問題(12.8%)
年齢別：①40代(44.8%) ②30代(36.3%)

相談時間

9:30~16:30 月・火・水・金・土
14:00~20:00 木

【電話相談】【面接相談】(面接相談は予約が必要です。)

※休館日は、毎月第4月曜日・12月29日から翌年の1月3日です。
(相談業務は毎週日曜日が休みです。)

高岡市末広町1-7(ウイングウイング高岡6階) ●JR高岡駅前

相談室より

相談室では一人ひとりの気持ちや考え方を尊重し、相談者自身が自分の力を発揮して問題解決に取り組んでいけるようなサポートを行っています。

電話相談や面接の中で相談員とともに問題を整理しながら、今後の見通しをつけていくための知識や情報も提供しています。

この広報紙は高岡市のホームページからもご覧いただけます。

ほっとホット高岡 ➡ 市民・事業者のみなさま ➡ 総合サービス案内 ▶ 市政情報 ▶ 市民参加 ▶ 男女平等・共同参画

<http://www.city.takaoka.toyama.jp/kikaku/0208/index.html>



推進員が学んだ
成果のお裾分け

各校区でミニ地区懇談会を開催しました!

木津校区

講演会「家庭における男女共同参画」 ～東日本の大震災からの学びを生かして～

6月17日 木津公民館

講師: 県教育委員会スクールカウンセラー
羽岡ゆみ子さん



長年教職を務められた羽岡さんに講演をおこなっていただいた。現在羽岡さんは地域社会でも様々な活躍をされており、多方面からの興味深いお話を聞くことができた。世界中を震撼させた東日本大震災について写真を交えながら、大惨事から人々が「生きる力」をもって立ち直ろうとする姿を語られた。「生きる力」の元となるのは絆であり、人としての尊厳を重んじること、またそのためにはコミュニケーションや家族の中でのルールづくりが欠かせないことなど、わかりやすく話していただいた。

石堤&西広谷校区

朗読劇 「モモタロー・ノー・リターン」

11月4日 石堤小学校



参加者の感想

- ☆男おにの社会は現代の男社会そのもの。
- ☆男の仕事、女の仕事と分けていた。互いの仕事をしてみると意外と楽しみを見つけることが出来る。
- ☆二人の熱演がすばらしかった!
- ☆世の中の変化に応じて常識は変化する。
- ☆家庭では様々な事柄を話し合い、子育てに関しては二人の子どもなのだから二人で。
- ☆劇のシナリオに先入観があった。

あらすじ

昔、あるところにお婆さんとお爺さんが住んでいました。男だから女だからという固定的な考えに疑問をもったお婆さん。そこでお互いの役割を交代することに。やってみて初めてそれぞれの大変さや面白さを知りました。ある日お爺さんが川から拾ってきた桃から女の子が生まれ桃子と名づけます。家事も育児もお爺さんとお婆さんがお互いに協力しあいます。

そんな二人に育てられた桃子は、やがて鬼が島へ向かいます。鬼が島は昔ながらの男社会。長年のよいとは言えない慣行がはびこり、内心疑問を持つ鬼もいるなか、桃子は鬼が島再建計画(男女共同参画プラン)を示し、鬼と人間、男と女が互いを尊重し共に生きていくことができる世の中を目指します。鬼はこれを受け入れ、新しい時代に向けての第一歩を記しました。



各校区でミニ地区懇談会に参加された皆さま、
ありがとうございました。

9月15日

相続について

講師 司法書士 谷道 伸也 さん

エンディングノート? 耳慣れない言葉でしたが「ノートにこんなことを書き留めておくといい」と谷道さんはおっしゃいました。自分史(学歴・職歴・資格・免許)や出会い、思い出のストーリー、葬式についての本人の希望、家族親類はもとより友人知人の連絡先などです。残される家族のために自分が元気なうちに書き留めておくことが大切とのことでした。

また、子の配偶者には相続権がないなど寝耳に水な話もありました。遺言書を書くべきこと、財産放棄する場合の注意点などについてお話しいただき、とても参考になりました。私も早速エンディングノートを作ってみました。

(横田 喜子)

10月25日

アプローチによる朗読劇とディスカッション

ファシリテータ アプローチ 沙魚川万紀子さん

「アプローチ」とは、推進員OG、OB有志の会。昨年7月某校区で行われたミニ地区懇談会での「寸劇とディスカッション」のあまりの面白さに、現推進員にも体験してもらいたくてミニ学習会をお願いした。今回は「モモタロー・ノー・リターン」(奥山和弘著)の朗読劇で男女共同参画の考え方をおさらいした上で、一人2分間で自分の考えをまとめ、思いを相手に伝えるというものだった。これがなかなか難しい。「聞く側の態度はどうだろうか?」ファシリテータが要所要所に投げかけてくれる言葉は、コミュニケーションの基本でありながら、忘れていた事を多々気づかせてくれる。地元校区のミニ地区懇談会を企画するにあたって、とても参考になった。

(野崎 里見)

活動報告

11月17日

働く女性の活動を推進する取り組みについて

講師 北陸コカ・コーラボトリング(株) 宮崎としみさん

女性が働きやすい職場は、男性も働きやすい職場ではないでしょうか? 様々な施策に取り組む北陸コカ・コーラさんですが、一番印象に残ったのは、半日休暇の推奨です。お父さん達が授業参観や子どもたちとふれあえる機会をつくっていると感じました。子どもとふれあえるから家庭が円満。家庭が円満だから全力で仕事ができる。このような取り組みが富山県の「女性が輝く元気企業とやま賞」を受賞された理由だと納得しました。

(高梨 真宏)

1月28日

親子料理教室 場所 アグリピア高岡



今年は恵方巻きにチャレンジ!
福が来ますように!!

10月22日

平成23年度 女と男のパートナー会議 高周波文化ホール(新湊中央文化会館)



高岡・射水・氷見の3連絡会と富山県との合同開催で女と男のパートナー会議が行われました。第一部の寸劇「めざめた!お父さん」では、射水市連絡会の推進員の方々が熱演されていました。女性の社会参画は、家庭の理解からと感じました。

第二部では、株式会社インテック代表取締役会長中尾哲雄さんの講演が行われました。「女性の潜在的な能力が日本の含み資産だ」と、私たちの活動への弾みになる言葉をいただきました。より多くの人に聴いて頂きたい内容でした。とても有意義な会議であったと思います。

(山岡 純子)